



セーブオンに設置したPOTEKA Sta.

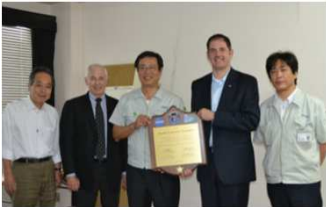
伊勢崎市POTEKAプロジェクト開始！

伊勢崎市教育委員会、四ツ葉学園中等教育学校および群馬大学教育学部岩崎研究室との連携で、当社開発の小型気象計「POTEKA Sta.」とクラウド環境「POTEKA Lab.」を利用した、地域稠密気象観測「伊勢崎市POTEKAプロジェクト」を立ち上げました。

このプロジェクトは、伊勢崎市の小中学校、高等学校及び公園等の14箇所、群馬県および埼玉県、栃木県の一部を含むセーブオン41店舗にPOTEKA Sta.を設置、リアルタイムに得られた“その場の気象環境情報”について、熱中症予防や教育活動等に役立つことを実証する取り組みです。

POTEKA (ポテカ)は「ポイント(Point)、てんき(Tenki)、かんそく(Kansoku)」から「ぼ・て・か」を英文字化したもので、一般公募の中から四ツ葉学園中等教育学校の生徒さんの案が選ばれました。この新しい名称に相応しい取り組みとなるように、新しいアイデア・発見を目指し、様々なテーマで共同研究・実証実験を行っていきます。

(当社営業担当：グローバル戦略グループ 前田 亮太)



写真中央左から
ジム・バーチ副社長 石井社長
クリス・ブラッカビー氏

NASAとSwRIより「感謝の盾」をいただきました

7月3日、NASAアジア支部代表クリス・ブラッカビー氏と技術提携先であるサウスウエスト研究所(SwRI)のジム・バーチ副社長が本社・工場に来社され、感謝の盾をいただきました。これは、MMS衛星(Magnetospheric Multiscale)に搭載されるFPIイオンセンサを本年3月、計画通り16台完納したことによるものです。

このFPIイオンセンサーは、当社/NASA/SwRI/JAXA(宇宙航空研究開発機構)との協力開発品であり、4機のMMS衛星に搭載され、宇宙空間プラズマの観測を行います。

フライトモデルの製作を完了したことで、現在米国で衛星レベルでの試験が進められています。打上げはケネディー宇宙センターから2014年10月を予定しております。この貴重な経験を生かし、世界に向けた新しい取組みを積極的に開始し、衛星関連事業の拡大を目指します。

(当社営業担当 宇宙・防衛グループ 小林 忍)



4Kカメラシステム

祝「こうのとりのり」4号機 打ち上げ成功！

8月4日(日)午前4時48分、種子島宇宙センターにおいて、宇宙ステーション補給機「こうのとりのり」4号機を搭載したH-2Bロケット4号機の打ち上げが成功しました。

H-2Bロケットには、明星電気が開発を担当したロケット搭載カメラ2台と画像圧縮伝送装置(PCE)が搭載され、打ち上げから宇宙到達までの状況を監視しております。

また、今回「こうのとりのり」により、国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」に運ばれる4Kカメラシステム、IP-PCDU(電力分配装置)、JCAP(船内ワイヤレスアクセスポイント)もそれぞれ明星電気が担当しています。

4Kカメラシステムは、4Kカメラ(現行のハイビジョンの4倍の画素数を擁する高解像度カメラ)、レコーダ、モニター、コンバータで構成される世界初の超高感度4K映像の撮影装置です。12月に地球に接近する“アインシュタイン彗星”の映像を国際宇宙ステーションから撮影を行います。

(当社営業担当：宇宙・防衛グループ 小林 忍)

Sensing & Communication

私たちは、独自の Sensing & Communication 技術により革新的な商品・サービスを創造し
安全・安心な社会の発展に貢献していきます。